

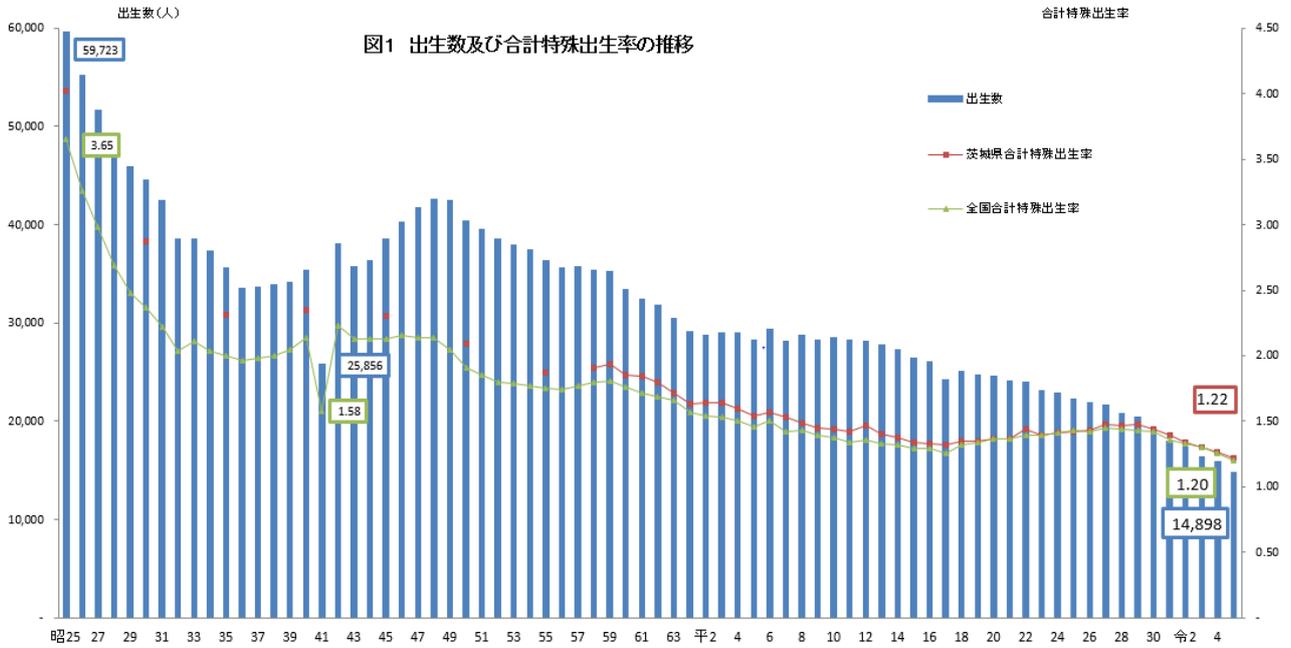
令和 5 年茨城県人口動態統計

結果の概要

1 出生数は減少

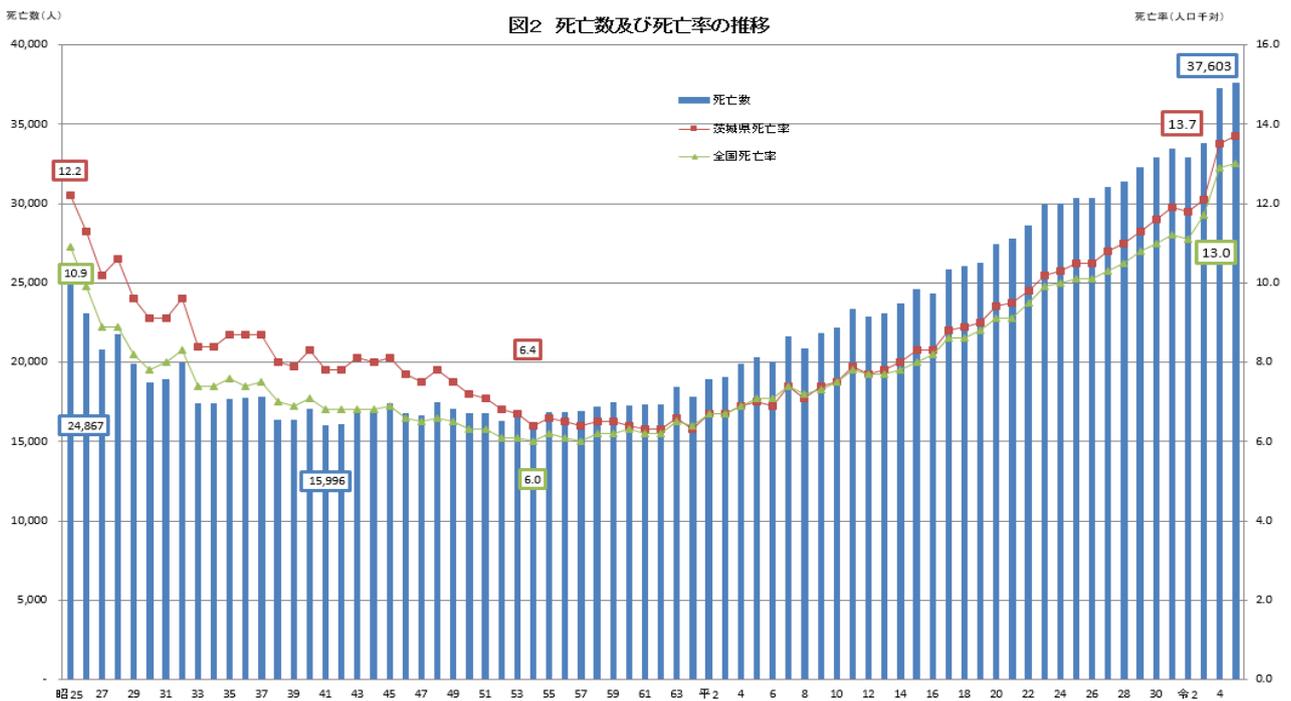
出生数は14,898人で、前年より1,007人減少し、出生率（人口千対）は5.4で、前年を0.3下回った。合計特殊出生率は1.22で、前年を0.05下回った。

出生率では、つくば市・阿見町・守谷市が高く、大子町・利根町・五霞町が低い。



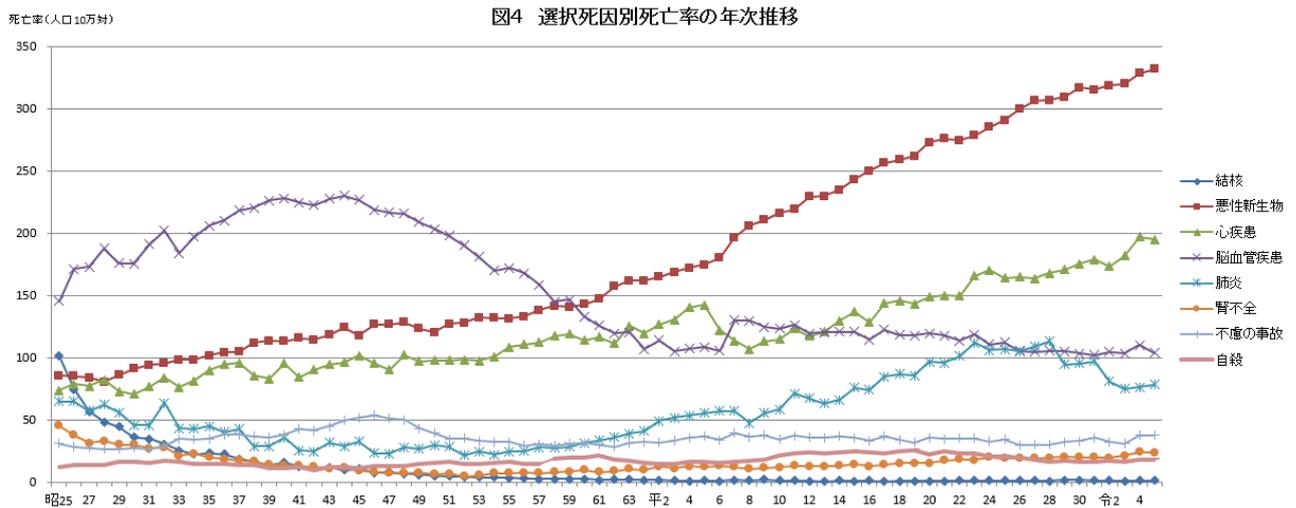
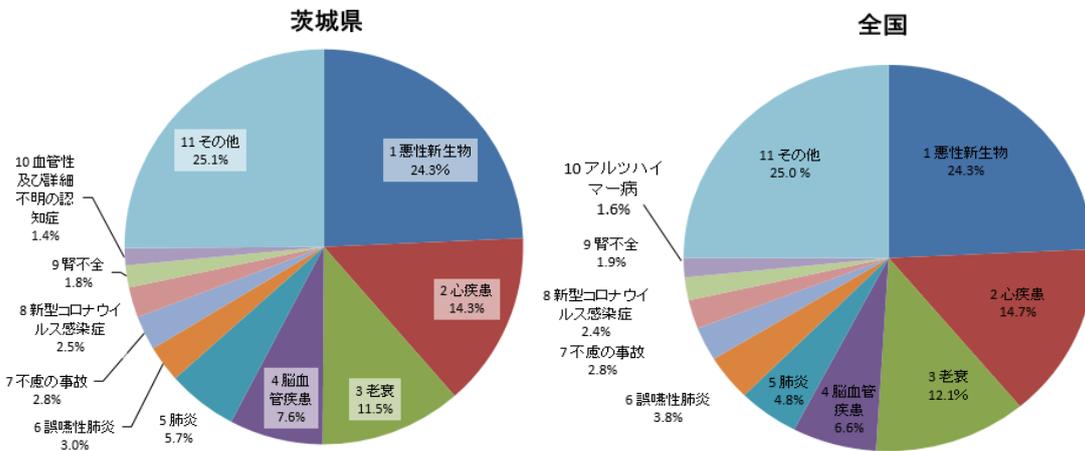
2 死亡数は増加

死亡数は37,603人で、前年に比べ347人増加し、死亡率（人口千対）は13.7で、前年を0.2上回った。死亡率では、大子町・河内町・稲敷市が高く、守谷市・つくば市・牛久市が低い。



死因別では、第1位が悪性新生物（9,120人、人口10万対332.4）、第2位が心疾患（5,361人、人口10万対195.4）、第3位が老衰（4,340人、人口10万対158.2）である。悪性新生物による死亡は昭和60年以降第1位となっている。全死亡者に占める割合は、それぞれ24.3%、14.3%、11.5%である。

図3 死因構成割合

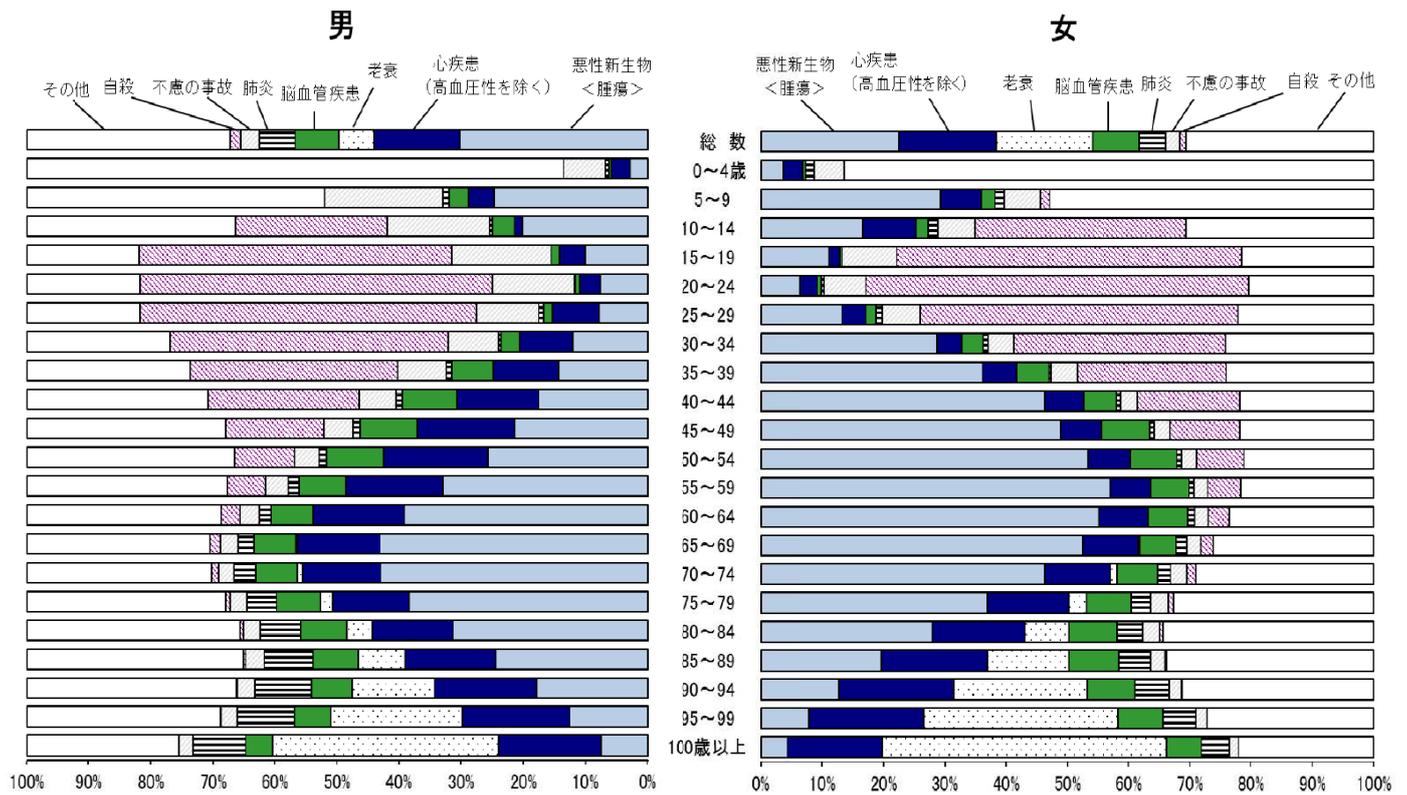


3 死産数は増加

死産数は331胎で、前年より22胎増加（自然：4胎減、人工：18胎減）し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は21.7で、前年を2.6上回った。

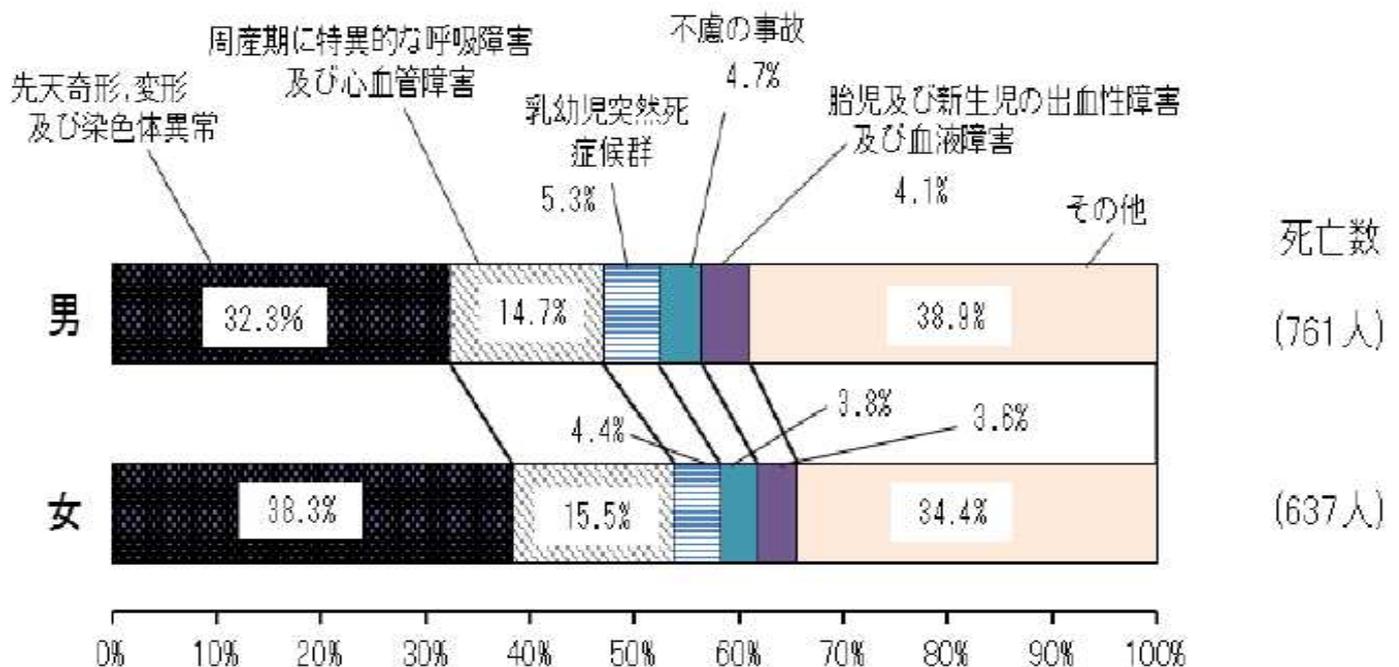


性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合(令和3年(2021))



出典: 令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況(厚生労働省)

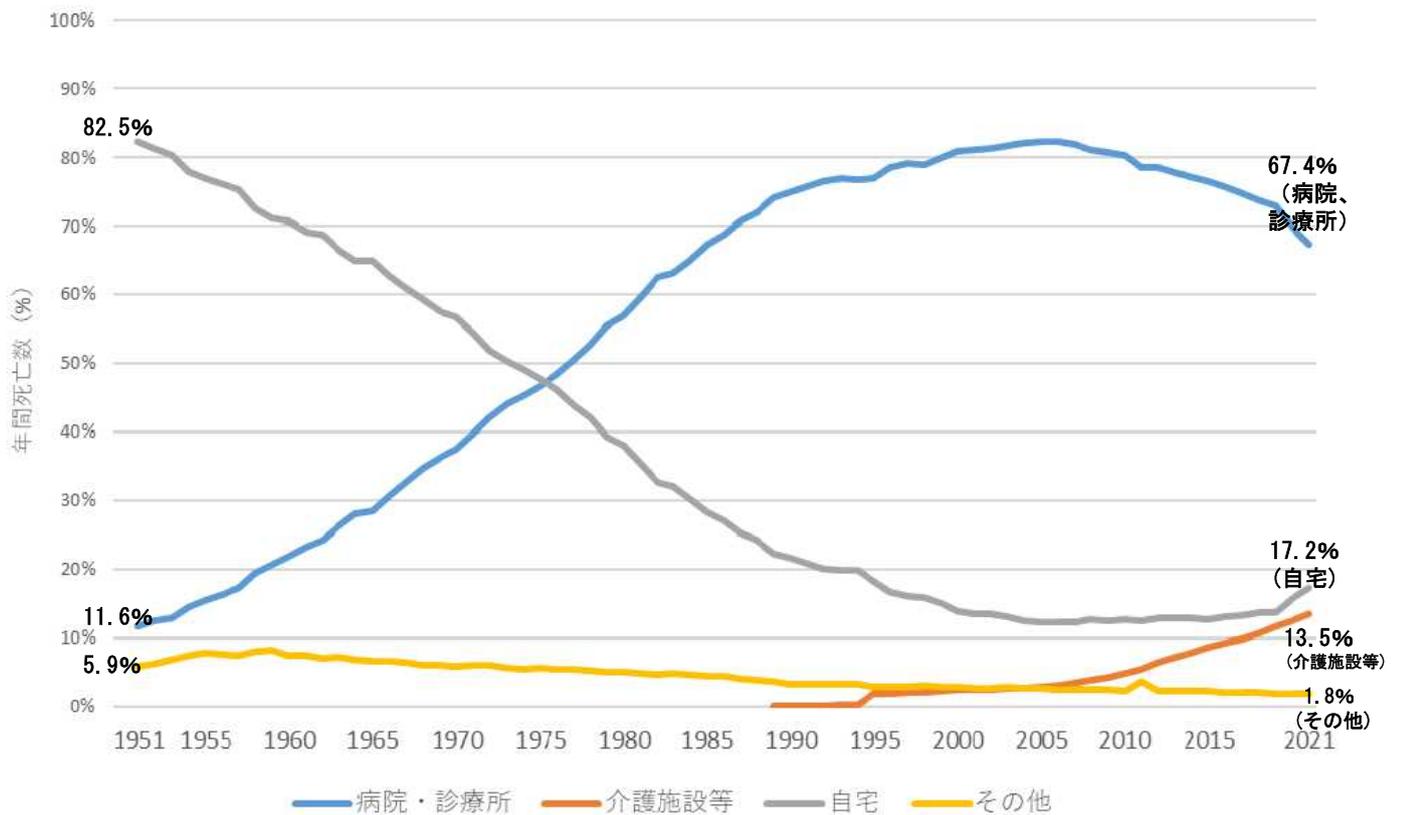
乳児死亡の主な死因の構成割合(令和3年(2021))



乳児死亡: 生後1年未満の死亡

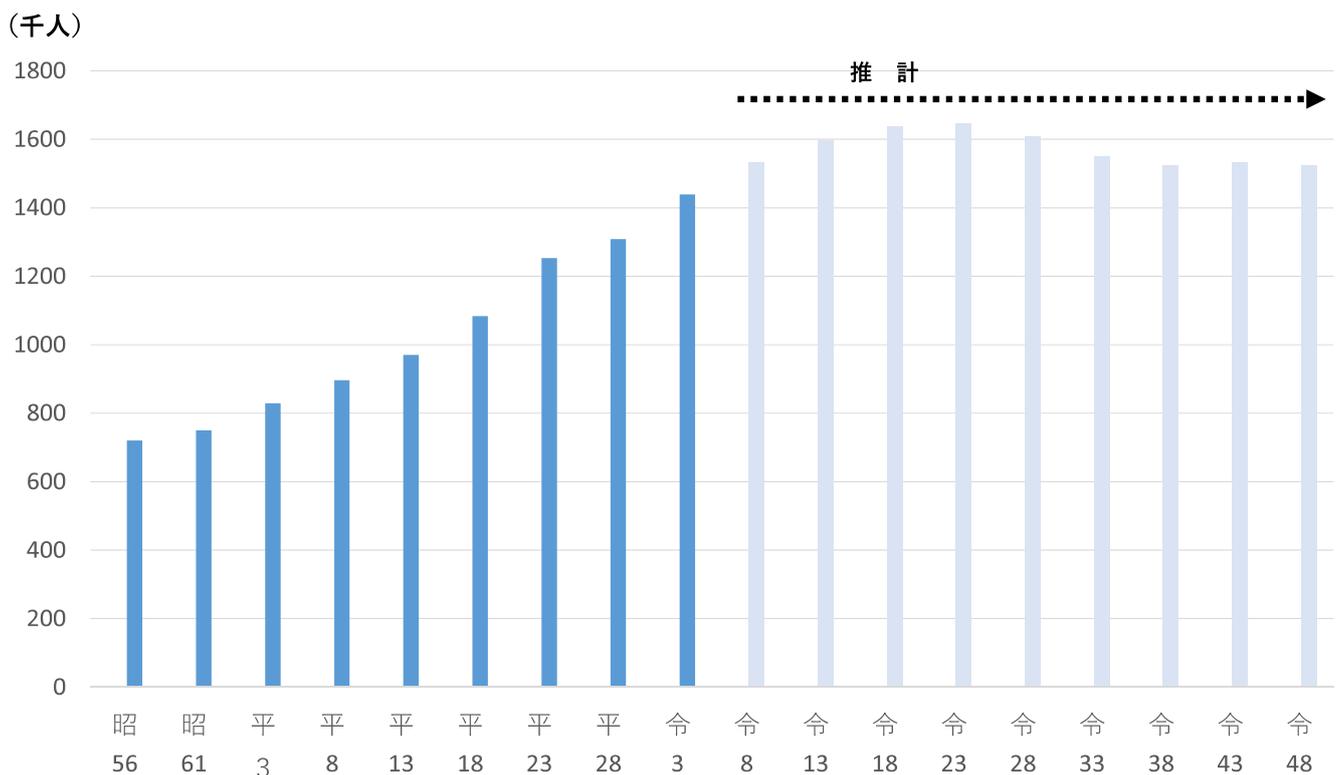
出典: 令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況(厚生労働省)

死亡場所の推移



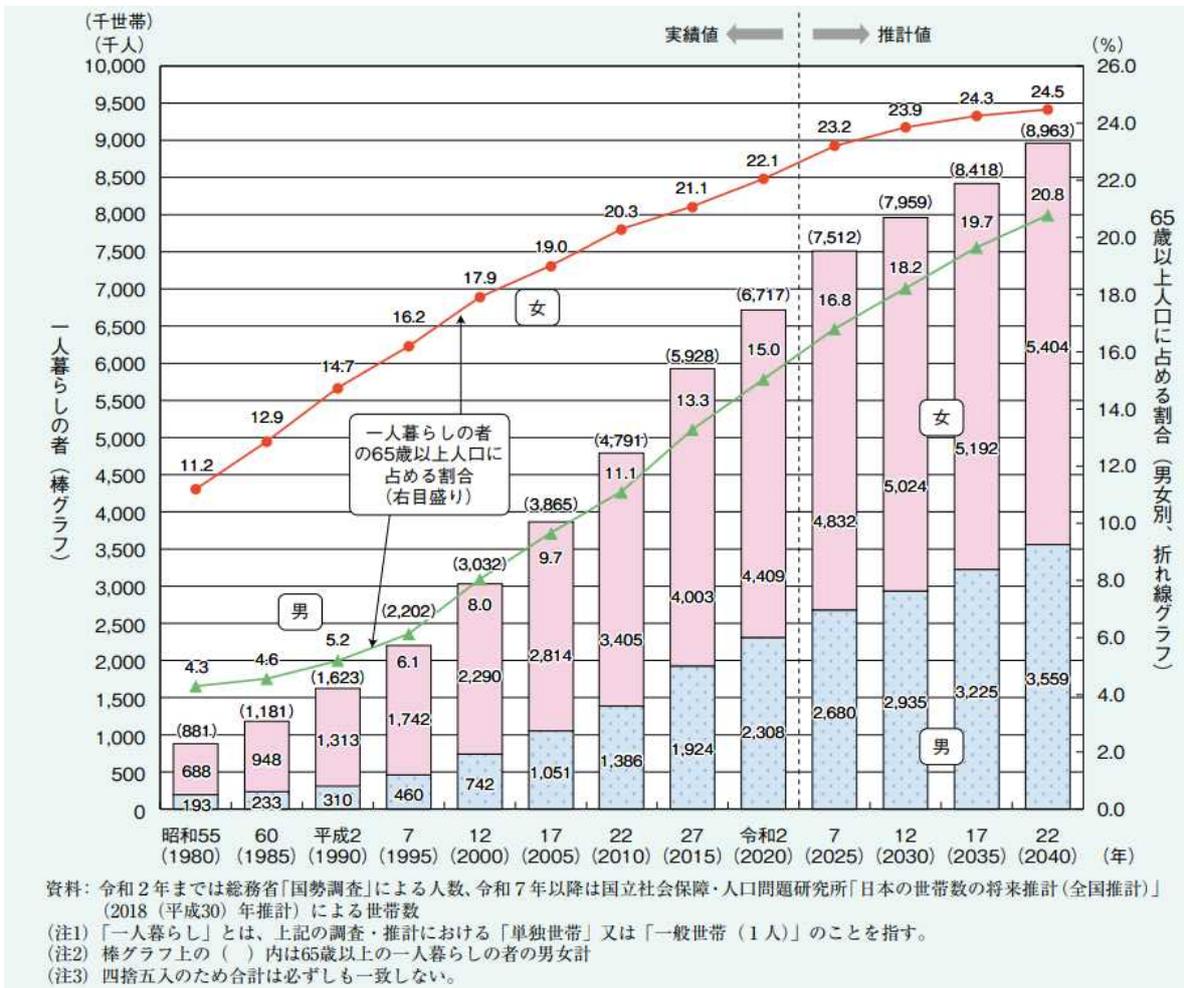
厚生労働省 令和3年 人口動態統計 主要統計表（死亡）第5表 死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移から作成
 ※介護施設等とは、介護老人保健施設、介護医療院、老人ホーム。介護老人保健施設は1989年から、介護医療院は2018年から、老人ホームについては1995年から独立した項目として集計を取り始めたもの
 （1994年までは老人ホームでの死亡は自宅又はその他に含まれる）

死亡数の動向及び将来推計



令和3年以前は厚生労働省 令和元年 人口動態統計 月報年計 図4死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移から作成
 令和8年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(出生中位・死亡中位)による推計結果から作成

65歳以上の一人暮らしの者の動向



出典：令和4年版高齢社会白書(内閣府)